



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

日本共産党

こんにちはは 市会議員
南畑さち代 です

No. 76
2017・10・16
連絡先
453-7758

9月議会
報告

メガソーラー計画地内に 市の里道・水路

和歌山市は、鈴鹿電設(有功方面)のメガソーラー計画に伴う林地開発の事前申請への意見として「計画地内に里道と水路があり協議が必要」としています。協議の対応や業者の説明会で出されている住民不安について、また、水道の未普及地域問題について取り上げました。

計画地内の里道・水路は総合的に判断

質問 事業区域内に、里道・水路が存在するが、その所有者はどこですか。どう対応するのですか。
回答 接者が通行の用に供していない、今後もし供しない旨の同意の上、現地を確認し、総合的に判断します。

答弁 和歌山市所有の里道が2カ所、水路が2カ所ある。里道・水路は、払下げをする場合、地元自治会および隣

和興大橋は市道橋ではなく、点検していない

●計画地への工事車両の通行には必ず利用する和興大橋があるが、住民から「建設年数が古く、不安の声」があることから質問しました。

質問 和興大橋が破損した場合、どうするのですか。橋梁の長寿命化計画に入っていますか。点検はごとうですか。



答弁 破損した場合、現地調査を行った上で開発事業者と協議し、補修に努めます。当該橋梁は市道橋ではないため長寿命化計画に含めていません。また、点検は行っていないませんが、地域の主要な道路であるため、点検に必要な財源の確保に努めます。

連合自治会、池水利組合から要望書提出

質問 住民からどのような声が届いているのですか。

答弁 有功地区連合自治会と直川地区連合自治会および有功池水利組合から、有功方面のメガソーラー建設に反対する要望書の提出を受けています。内容は、森林を伐採し、開発することで水害や土砂災害の発生等が危惧されること、水源涵養機能が損なわれ、農業用水への影響が危惧されるので、開発を認めないようこの要望です。

サンシャイン紀ノ川台 反対多数

9月3日、サンシャイン自治会で、メガソーラー計画の賛否を問う住民投票が行われ、結果は圧倒的に反対多数でした。

<投票結果>

反対：250票
賛成：30票
白票：1票



(有功地区自治会館の掲示板下に設置された建設反対の看板)

市議会「再生可能エネルギー意見書」全会一致で国へ

9月議会の最終日の9月28日、全議員の総意による議員発議として、下記の内容で国に意見書が提出されました。

再生可能エネルギー発電設備の設置等に関する法整備を求める意見書

再生可能エネルギーは、エネルギー源の多様化や地球温暖化対策に資する貴重なエネルギーであり、平成24年7月に電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づき再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始されて以降、再生可能エネルギー発電設備の導入は、全国各地で急速に進んでいる。

しかし、太陽光、風力、水力、地熱などの発電設備のうちでも、特に、発電規模の大きい太陽光発電設備に関しては、広大な敷地を造成し、多くのソーラーパネルを設置することから、大規模な山地開発による森林伐採が必要となり、土地の保水力が損なわれることにより土砂、泥水の流出など、自然災害発生の危険性が增大するとともに、動植物の生息地の破壊等による生態系や景観その他の様々な環境への影響が懸念され、地域住民からは工事による物理的な諸問題のみならず、災害発生時に破損しても発電し続けるソーラーパネルによる感電事故や光害などによる住環境の悪化を心配する声が高まっている。

さらに、太陽光発電設備のみならず、風力発電設備などの再生可能エネルギー発電設備に関する既存法令の規制は不十分なことから、開発事業者と地域住民、地方自治体との間でトラブルが頻発するなど、地域コミュニティをも破壊する要因となっており、さらには開発を巡り訴訟にまで至るケースもあり、極めて深刻な状況となっている。

こうした問題は、本市のみならず多くの地方自治体が抱えており、再生可能エネルギー発電設備の設置に係るガイドラインの策定など、様々な課題への対応に非常に苦慮している実状にある。

よって、国においては、再生可能エネルギー発電設備の設置等に関し、地域住民への事前説明や環境調査の実施を事業者が義務付けることも含め、地域住民の合意形成を担保するほか、施設の安全性を確保するため、造成、地盤強度等に関する設計基準や施工、管理並びに事業終了後の設備の適切な除去及び当該地の在り方に関する基準等を整備し、事業者によるその基準等の遵守と実効性を確保するための法整備を早急に図られるよう強く求める。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

市長、「計画に疑問」「望ましくはない」

9月19日、松井のりひろ議員は、「和泉山脈に計画が浮上している『メガソーラー』について望ましいと思うかどうか」と質しました。市長は、「地域住民からの不安の声を聞くにつれ、計画に疑問を感じ、和泉山脈の南斜面がソーラーパネルで埋め尽くされるのは望ましくないと答弁しました。」

水道の未普及地域に浄水装置等での給水を!

●河北地域には今も水道の未普及地域があります。現在、加納浄水場の水質処理能力の向上を目指して2025年度の完成予定で更新中です。未普及地域の解消は、その後検討するとしていきます。これでは何時になるかわかりませんが、地域の方から「飲料水はペットボトルを購入している」「井戸水を利用してはいるが、大雨などの時にはお風呂の底に泥が溜まってしまふ」「洗濯すると産着が薄茶色に染まってしまふ」等のつらい実情を直接お聞きしました。一日も早い未普及地域の解消が必要との思いから質問しました。

質問 2025(平成37)年度の加納浄水場の完成後に検討というのではなく、井戸を活用した浄水装置等で給水できないのですか。

無料生活法律相談

日時：10月25日(水)
11月8日(水)
午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113(日本共産党市議団直通)

7月～9月の生活相談件数

住宅	: 1件	介護	: 4件	法律	: 1件
障がい	: 1件	国保	: 1件	道路	: 2件
生活保護	: 5件	環境	: 2件	空家	: 1件
年金	: 1件	医療	: 1件		

エレベーター署名1300人分提出



(9月13日、署名を提出する池尾正代表)

「紀ノ川駅をよくする会」は紀ノ川駅にエレベーター設置を求める署名を本社担当者に提出しました。

【答弁】未普及地域の自然的、地理的条件を把握し、井戸を活用した簡易な浄水装置からの給水などが早期に講じられるよう検討していきます。